



もりがく県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

2月県議会・予算委員会で質問に立つ森岳県議



マラソンに期待 アクアライン

2024アクアラインマラソン財源	
ランナー参加料	2億6,550万円
企業協賛金	3億3,686万円
千葉県交付金	1億8,500万円
スポーツ振興くじ等助成金	1,800万円

2月県議会・予算委員会

社会実験も奏功

木更津市選出で「きさらび」再生に情熱を燃やす森岳県議（3期目）は、2月県議会・予算委員会に立ち、まず東京湾アクアラインマラソンや社会実験について見込みをただし、次いで、木更津港の整備状況、観光振興、有機農業、ノリ・アサリ漁、かずさDNA研究所等について当局の考えを質問しました。その概要をお伝えします。

予算総額の内訳

森議員 県内最大級のスポーツイベント、千葉アクアラインマラソンは、今年11月10日の開催に向け、機運の盛り上がりを感じる。

この大会は官民連携の実行委員会により実施され、運営面、継続性で協賛企業の理解と協力が不可欠だ。

実行委員会の予算総額と、財源内訳はどうか。

スポーツ・文化局長

2024大会に係る実行委員会予算は、令和5年度及び6年度の総額で8億536万円です。※財源内訳は上記

企業協賛の申し込み

森議員 現在の状況は、スポーツ・文化局長 オ

多彩に連携し観光振興

高付加価値促進事業

森議員 アクアラインの社会実験効果を最大化するには、観光客の県内周遊と滞在が必要だが、効果的な取組が少ないと感じる。

今後は、地域が広域に連携し、魅力ある観光コンテンツを生み出すことが必要と考えるが、高付加価値促進事業の取組はどうか。

商工労働部長 今年度補助採択した事例では、①現代美術家デザインの着物を纏った観光客が栄町で屋外アートを巡る②成田山参道で散策や料理体験を楽しむ成田市周辺の魅力を再発信する一帯、地域の高付加価値化につながる取組を支援し、新たな魅力の掘り起こしに努めております。

業全体としても前回の同時期を上回る申込みを頂いております。

金田地区の渋滞

森議員 アクアラインは、通行料金引き下げにより、交通量が増大し、休日中心に激しい渋滞が発生しているが、昨年7月から実施している時間帯別料金の社会実験により交通量が分散し、本線の混雑緩和が確認

されたという。金田地区の渋滞は改善しているのか。

県土整備部長

交通の分散により、本線だけではなく、木更津金田IC周辺道路の混雑が緩和しています。金田地区で毎年実施している調査によると、社会実験前と比較して、ICに接続する国道409号や、木更津市道の最大渋滞長は、30%以上減少しました。

社会実験の措置費

森議員 社会実験は、①割引なしの料金収入と②割引の料金収入実績の差を、国と県が年間5億円負担している。理由は何か。

森議員 次年度に向け、どう取り組んでいくのか。

商工労働部長

次年度は、周遊性があり付加価値の高い観光コンテンツ開発に意欲ある民間事業者と市町村等とをマッチングさせる仕組みを構築いたします。

今後も、市町村や地域と連携し中長期的な観光需要の拡大を図ってまいります。

要望 今後の観光コンテンツ

が開発され、多くの観光客が千葉県を訪れるよう期待する。

観光プラットフォーム

森議員 観光分野でのDX活用は当然の流れで新年度に「デジタルマーケティング事業」として日本観光

担している。この措置費は、どう計上されているか。

県土整備部長

社会実験によって、料金収入は増加する見込みであることから、2月補正予算では4億5千万円に減額計上しています。

また、令和6年度当初予算では、社会実験を1年間継続する予定として、4億2千万円計上しています。

要望 1年間は金額で運営すると思われるが、社会実験ということなので是非、色々な可能性を模索していただきたい。

森議員 外国人観光客の誘致に取り組む市町村等をどう支援していくのか。

市町村東への支援

森議員 外国人観光客の誘致に取り組む市町村等をどう支援していくのか。

市町村等に対して、海外の最新旅行情報を提供するとともに、職員が合同で海外に赴き、現地での商談会等によって千葉県観光の魅力を発信しています。

たい。

観光誘致の重点国・地域

森議員 効果的に観光客を誘致するには、国、地域を見極め、重点的に取り組むことが必要だ。令和6年度はどのような国、地域を重点に置いていくのか。

知事

県では、訪日客数や本県の宿泊実績などを踏ま

要望 県の知見、ノウハウもあ

ると思うので、市町村に寄り添った支援をお願いしたい。

森岳県議プロフィール

経歴

昭和54年5月31日生まれ
平成4年3月 木更津市立鎌足小学校卒業
平成7年3月 木更津市立鎌足中学校卒業
平成10年3月 県立木更津高等学校卒業
平成14年3月 中央大学法学部政治学科卒業
証券会社勤務後
平成16年6月 浜田靖一事務所入所
平成27年4月 千葉県議会議員選挙初当選
令和元年4月 同2期目当選
令和5年4月 同3期目当選 現在に至る

役職

県議会商工労働常任委員会 副委員長
土石採取対策審議会委員
ちば自民党青年局青年部長

地元と連携し推進

木更津港の整備



再質問する森岳県議

木更津港整備の方針

森議員 木更津港は、平成22年改訂の港湾計画により、吾妻地区で内港北公園等の整備が進められたが、

木更津南部地区の船溜まり計画は停滞し、停泊場所の早期確保が求められている。更にヤード不足や岸壁の延長不足など地元市や港湾団体の要請に対応する必要がある。そこで伺う。

木更津港の整備を、どのように進めて行くのか。

県土整備部長 整備の指針となる港湾計画は、改訂から10年以上が経過しており、社会情勢や環境の変化も踏

まえて長期的な視点で今後の木更津港についての活用方針を定める必要があります。

そこで、現在、学識経験者や港湾関係団体等に参画いただき、港の将来像となる長期構想について検討しており、策定後、速やかに港湾計画を改訂し必要な施設整備を進めてまいります。

木更津市との連携

森議員 私の地元では、「みなとまち木更津」の再生を目指すプロジェクトを推進しているが、木更津市との連携はどうか。

県土整備部長 現在進めている長期構想の検討では、

木更津市を始め、各市の施策が反映できるよう、地元自治体にも参画いただいております。港湾計画の改訂や施設整備にあたっては、各市と緊密な連携を図ってまいります。

航路や泊地の水深

森議員 江川航路や吾妻地区の泊地島の管理状況

基礎研究の成果

森議員 かずさDNA研究所の基礎研究分野におけるこれまでの成果はどうか。

商工労働部長 研究所では、これまでに植物や藻類など、73種類のゲノム情報を世界で初めて解読したほか、特に解析が難しいヒト遺伝子の多くを独自に解明するなど、多くの成果を挙げて

かずさDNA研究所の基礎研究 世界の中核拠点に

きました。

また、農業分野では、迅速・安価に野菜種子の品質を確認する独自の手法を開発し、種子の安定供給に貢献しているほか、医療分野では、希少難病の遺伝子検査を全国で最も多く実施し、我が国の難病治療で重要な役割を果たす等、様々な分野で実績を残しております。

基礎研究の今後

森議員 基礎研究を今後、どう強化していくのか。

知事 研究所では、基礎研究の更なる強化を図るため、子どものアレギー疾患の原因を遺伝子レベルで解析する研究や、バイオ燃料などに適した藻類のメカニズムを解明する研究など、先端的な3つのプロジェクトを今年

はどうか。

県土整備部長

公共岸壁を利用する船舶の航行に支障が無いよう、江川航路や吾妻地区の泊地等の浚渫について、今年度内の契約に向け手続きを進めており、来年度当初から着手します。

①木更津市のプロジェクト実現に向

け、しっかりと後押し願いたい。
②航路など安全管理に引き続き尽力し、特に江川航路は予算を重点的に投じて効果を検証して頂きたい。
③しっかりと予算措置するとともに長期構想策定の中で可能性を更に広げるよう要望する。

要配慮者に支援

支援情報と財政支援

森議員 災害時に要配慮者に必要な支援情報が届くよう取り組むべきではないかと考えるがどうか。

防災危機管理部長 県では、配慮が必要な方々の事情に応じた支援や情報提供の仕方について市町村に周知

しているほか、防災研修センターで要配慮者研修を行うなど、配慮が必要な方々にも支援の情報が届くよう取り組んでおります。

また、平成27年度から令和4年度まで、配慮が必要な方にも資する避難環境の整備について、52市町村の497事業に約5億8千万円を支援しました。

引き続き要配慮者への支援情報提供が確実に実行されるよう、市町村の支援を要望する。

要望 同研究所が引き続き、本県のバイオライフサイエンスを支える中核的拠点となるよう、しっかりとした支援をお願いしたい。

有機農業―着々と推進ノリ・アサリ漁―復活へ

有機農業の取組

森議員 県では、令和3年に策定した第3次千葉県有機農業推進計画で、有機農業の生産拡大に向けた支援など5つの施策を掲げ、取組面積、農業者数などの目標値を設定した。

この目標達成に向け、来年度ではどのような取組を予定しているか。

農林水産部長

来年度は、有機農業者に対する省力機械の導入支援や栽培技術の指導のほか、有機JAS指導員の育成、研究機関での技術開発、消費者の認知度向上へのPR、市町村支援などに取組む予定です。

要望 意欲ある方々を支援していただきたい。

ノリ養殖漁場の取組 森議員 地球温暖化によ

度までの見込みはどうか。

農林水産部長 今年度末時点の有機農業指導員数は既に48名となっており、来年度は更に20名を予定していることから、累計で68名となる見込みです。

農林水産部長

県では、取扱いが容易な食害防除ネットを開発し、導入を支援しています。また、クロダイの生態を調査し、新たな防除技術を研究しています。

更に、県が開発した高水温耐性のノリ品種「ちばの輝き」を普及指導するとともに、食害を受けても再成長する新品種の開発にも取り組んでおります。

る漁場環境の変化は、東京湾の漁業に大きな影響を及ぼし、ノリ養殖も深刻な被害を受けている。

要望 東京湾のノリを守るため、漁場環境に適応した新品種の開発や新たな食害対策を検討して頂きたい。

アサリ漁業の取組

森議員 アサリ漁業の回復に向け、県はどう取り組んでいるのか。

農林水産部長 アサリ稚貝の流失を防止する漁場造成や、食害等からアサリを守る囲い網の設置などを支援しています。

ブルーカーボン推進

森議員 海藻などが吸収・固定した二酸化炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、新たな地球温暖化対策として期待されている。漁業環境の改善に、木更津地区ではどう推進するのか。

農林水産部長 県では、二酸化炭素の吸収源となるマア毛群落を適切に管理する実

要望 ブルーカーボンの推進は、漁業生産の向上や環境改善に繋がるので、県が率先して進めて頂きたい。

また、他県で進む「ブルークレジット」についても是非とも研究し、漁業者が積極的に取り組めるような形を作りたい。

●木更津市と県政についてのご意見をお寄せください

森岳

県議事務所

〒292-0805 千葉県木更津市大和2丁目6番8号103

TEL 0438-38-5050 FAX 0438-38-5051

URL www.mori-gaku.jp/ E-mail info@mori-gaku.jp/